

南京都病院だより

No.78 2025.4

🔍 南京都病院

<https://minamikyoto.hosp.go.jp/>
編集：南京都病院広報委員会

院長就任のご挨拶

とく なが おさむ
院長 徳永 修



この度、佐藤敦夫先生の後任として本年4月1日より院長に就任致しました徳永 修でございます。当院には平成10年4月より小児科医師として勤務しております。当院に赴任するまでは2～3年ごとの転勤を繰り返してきたため、「少し腰を落ち着けて、診察室で会う子どもたちとじっくり向き合うことができれば…」との思いも持ってこの病院にやってきましたが、気が付けば25年以上が経過してしまいました。居心地がよかったのかもしれませんが、また一方で日々の診療でやりがいを感じていたから、ここまで長居をしてしまったのかもしれませんが。当院では主に長い経過をたどる病気や障がいとともに生活されている患者さんを対象として専門的な医療・福祉サービスを提供しています。呼吸器疾患、神経難病を含む脳神経筋疾患、そして成育医療・障がい児(者)医療などの限られた分野ではありますが、ひとりひとりの患者さんにじっくりと向き合い、その時々状況に応じた適切な医療サービスを提供することができる病院であると自負しています。今後も当院が地域において欠かすことができない医療機関として、期待される役割を十分に果たしていけるように、病院スタッフと力を合わせて努力する所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

副院長就任のご挨拶

やま もと けん じ
副院長 山本 兼司



本年4月より副院長を拝命いたしました。これまで、パーキンソン関連疾患や認知症を含む神経筋疾患一般・神経筋難病の診療や研究を通じて、それぞれの患者さんに適した治療・ケアを提供できるように努めてまいりました。

当院は、呼吸器センター、小児科、脳神経内科、各領域の専門医やスタッフが、症状や障害と付き合いしていく必要のある疾患や障害に対して、生活の質を高める医療やケアの提供を行っています。また、他の医療機関や介護事業所、保健所などとも多職種で連携しながら、地域の方々にもお役に立てる病院であることも目指してまいりました。さらに、根治が難しい慢性疾患や難病について、症状を軽減させる、或いは、進行を遅らせることができる新たなお薬の治験や臨床研究にも取り組んでいます。

こうした当院の特色を生かして、疾患や障害の診断から急性期や慢性期にかけて、外来・入院で継ぎ目なく、患者さんやご家族が持っておられる価値観を大切にしつつ、安心して診療・ケアを受けていただけるように努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

Topic
インタビュー

脳神経内科

物忘れ、頭痛、手足のしびれ、歩きにくさなど様々な病状の脳神経疾患。
お困りのことがあれば専門医が揃った当科を受診ください。

脳神経内科 医師 ほそ かわ きょう こ 細川 恭子



先生のこと（経歴・診療の得意領域）

- 令和5年4月より当院で勤務されています。改めて自己紹介をお願いします。また、豊富な経験でてんかん専門医の資格もお持ちとのこと。先生の得意領域を教えてください！

出身は栃木県で、大学は青森県の弘前大学です。脳神経内科医になってからは岡山県の倉敷中央病院、医仁会武田総合病院で勤務し、その後京都大学の大学院で4年間脳波の勉強をしてきました。大学では指導医の先生方と24時間の脳波のモニタリングやてんかんに対する手術治療など様々な勉強をさせて頂きました。また研究テーマとして片頭痛の方の脳波をたくさん記録させて頂きました。南京都病院に赴任してからは水曜午後に頭痛・てんかん・認知症の専門外来を担当させて頂いています。必要に応じて、大学病院とも連携して診療にあたっています。

診療の紹介

- 脳神経内科は5人の常勤医師が在籍し、山城北医療圏においても有数の施設と言えます。他の脳神経内科の先生を含めた当院脳神経内科の紹介をお願いします。

当院の脳神経内科はメンバー全員が脳神経内科専門医、指導医を取得しており、豊富な経験で診療にあたっています。逆に言えば“若さのエネルギー！”のようなものは足りないかもしれませんが(笑)、堅実に働いております。MRI検査やSPECT、脳波検査や筋電図検査の機械もそろっており、様々な検査も可能です。メンバーそれぞれ得意分野がありますので、それぞれパーキンソン病やてんかん、しびれ、認知症などの専門外来を開設しています。得意分野を生かしながら、協力して診療を行っています。

地域の皆さん・症状でお困りの患者さんへ

- 脳神経内科はどういった症状なら受診すればよいのか難しいイメージがありますが、先生のご意見をお聞かせください。

脳神経内科は脳や脊髄、神経、筋肉の病気を扱う診療科になるので、症状も様々です。多いものであれば、物忘れ、頭痛、手足のしびれ、歩きにくさなどがあります。けいれんやしゃべりにくさなども脳神経内科の病気の事があります。これらの症状で困っている際には受診を考えて頂ければと思います。診察や検査の結果、眼科や耳鼻科、整形外科などの病気である場合もありますので、その時にはそれぞれ適切な科へ紹介するようにしています。もしかして脳神経内科かも・・・、と思った際にはお気軽にご紹介・受診いただければと思います。



打鍵機と音叉→

Event

2025
3/16

健康フェアを開催いたしました！



広報委員会

臨床検査科

血液主任 加古 幸代

検査の疑似体験で、超音波検査機器でフルーツゼリーの中身が何かな？と、顕微鏡で細胞や細菌を観察してもらった体験を行いました。体験された方からは、どんな風に検査をしているのかわかって良かった、画像を見て鮮明に細かなところまで見えるとは思ってなかった、細菌が見えるとは思ってなかった、顕微鏡で色々と見られて面白かったなど、たくさんの感想をいただきました。



リハビリテーション科

作業療法士 西川 朋杏

リハビリテーション科では、健康フェアにて健康教室を開催し、コグニサイズや呼吸体操などの健康体操を実施しました。子供から高齢者まで幅広い年齢層の方が参加され、様々な体操に挑戦していただきました。セラバンドや新聞紙の棒を使用したの体操では、道具を活用して行う事に興味を持って取り組まれていました。当科では、普段から道具を活かした体操の方法を指導する機会があり、その魅力を地域の方々に伝える事ができました。



看護部

西4病棟看護師 大石 梨央奈

看護のお仕事体験を実施しました！

来てくださった子供達や親御様には白衣を着ていただきました。可愛い天使のような白衣姿をたくさん見ることができました。血圧測定や酸素飽和度の測定を実施していただいたり、車椅子に乗る体験や押す体験、色々な手術器具を使用しマシュマロをお皿に移していただいたり、様々な体験をしていただきました。来てくださった皆様の将来に繋がるような、心に残る機会になっていたらうれしいです。



栄養管理室

室長 右野 久司

健康フェアで料理教室を開催しました。午前の部では「減塩スープパゲティ」を作りましたが、おいしい出し汁を使って薄味でも満足できる味に仕上がりました。同じレシピではありますが、4テーブルそれぞれ個性のあるスパゲティとなりました(写真)。午後の部では「ココアパンケーキ」を作りました。ホットケーキミックスにココアパウダーを混ぜて焼くだけの至って簡単なレシピではありますが、ココアの栄養もしっかりとれる風味豊かなパンケーキに仕上がりました。参加された方々には、楽しく作っておいしく食べていただけたと思います。



今回は南京都病院の近隣施設である青谷コミュニティセンターを利用し、健康フェア&病院のお仕事体験としてイベントを開催させていただきました。どのブースも参加者に丁寧に対応され、参加された方の喜んで顔を見ることができてとても嬉しく思いました。次回の健康フェアは、令和7年6月29日(日)、アルプラザ城陽にて開催予定です。またいろんな方にお会いできれば幸いです！

(経営企画係長 八島 公美)

地域連携 地域連携に力を傾けておられるみなさまを ご紹介いたします

慈しみの心を大切に、
丁寧な看護を提供します

訪問看護ステーションにしむら
城陽店

管理者 井上 彩乃



- 京都府城陽市平川茶屋裏21-1
ローゼンガーデン105号室
- TEL 0774-46-8920 FAX 0774-46-8921
- 休業日 土・日
- ※24時間365日緊急対応あり、定期訪問もご相談下さい
- 看護師、PT在籍
- 訪問エリア 城陽市、宇治市、京田辺市、八幡市、井手町、久御山町、宇治田原町（一部）、精華町（一部）お気軽にご相談下さい。
- <https://https://miroku-care.jp/>



訪問看護ステーションにしむら城陽店は、2024年10月に城陽市平川を拠点として開設し、地域の皆さまに寄り添った訪問看護サービスを提供しています。

私たちは、「ミロクの慈しみの心」を大切にし、利用者さまが安心して過ごせるよう、細やかな気配りと丁寧なケアを心がけています。安全・安楽な看護はもちろん、ご本人やご家族との温かなコミュニケーション、他職種との密な連携を通じて、より質の高いサービスを提供します。

24時間365日対応・土日祝訪問可能で、予防から介護、医療、精神疾患のケアまで幅広く対応。さらに、アロママッサージなどの緩和ケアを得意とし、リハビリ支援にも力を入れています。

地域に根ざした看護で、一人ひとりに寄り添う温かなサービスを提供いたします。お気軽にご相談ください。



こころに笑顔と、あおぞらを

あおぞら訪問看護ステーション
宇治

訪問看護 精神科訪問看護対応
管理者 松田 雅美



- 京都府宇治市小倉町西山81番地
- TEL 0774-66-1294 FAX 0774-66-1295
- 休業日 土・日・祝 ※365日24時間緊急時対応あり
- PT/OT在籍 精神科訪問看護対応
- 訪問エリア 宇治市、城陽市、宇治田原町、久御山町
上記エリア以外もご相談ください
- Mail aozora.nemunoki.uji@gmail.com
なんでもお気軽にご相談ください
- <https://www.aozora-houkan.com/>



あおぞら訪問看護ステーションは、京都府宇治市を拠点に、宇治市、城陽市、宇治田原町、久御山町など、地域の皆さまに寄り添いながら、24時間365日体制で安心と信頼の訪問看護サービスを提供しています。

私たちが目指すのは、単なる看護の提供ではなく、「心に寄り添うケア」です。病気や障がいを抱えながらも、ご自宅で安心して過ごせるよう、医療現場で豊富な経験を持つ看護スタッフが訪問し、医師の指示のもと、病状の観察や看護ケアを行います。それだけでなく、ご家族の不安にも耳を傾け、介護に関するお悩みや心配事にもしっかりと寄り添います。

住み慣れた環境で「自分らしく」。だからこそ、私たちは医療の枠を超え、皆さまが「その人らしい生き方」を大切にできるよう、お一人おひとりの想いに寄り添いながら、温かいケアを提供してまいります。

また、地域に根ざした「まちの保健室」として、医療や介護について誰もが気軽に語り合える場をつくり、心を通わせることで、皆さまの健康と笑顔を支えていきたいと考えています。

2024年3月に、ステーションを開設し、多くの方々にサービスをお届けできる体制を整えました。「一人じゃない」そんな安心をお届けできるよう、私たちはこれからも、皆さまとともに歩んでいきます。



Close
Up

リハビリテーション・栄養・ 口腔連携体制加算の施設基準取得について

経営企画室長 ふな はし まさ ひろ 船橋 正弘

当院では、令和7年4月1日より新たに、「リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算」の施設基準を近畿厚生局に届出いたします。

この加算は、入院中の患者さんのADLの維持、向上等を目的に、早期からの離床や経口摂取が図られるよう、リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理に係る多職種による評価と計画に基づき、医師、看護師、当該病棟に専従及び専任の理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士、当該病棟に専任の管理栄養士及びその他必要に応じた他の職種により行われる所定の取組を評価するものになっています。

主な取組としては、①当該病棟に入棟した患者全員に対し、原則入棟後48時間以内にADL、栄養状態、口腔状態について評価を行い、それに基づき、リハビリテーション・栄養管理・口腔管理に係る計画を作成すること、②入院患者のADL等の維持、向上等に向け、リハビリテーション・栄養管理・口腔管理の評価と計画についてのカンファレンスを定期的で開催すること、③適切な口腔ケアを提供するとともに、口腔状態に係る課題（口腔衛生状態の不良や咬合不良等）を認めた場合は必要に応じて歯科医師等と連携する又は歯科診療を担う他の保険医療機関への受診を促すこと、等があります。

当院では令和7年4月より西5階病棟において、リハビリテーション・栄養・口腔連携のための専従・専任の理学療法士を2名、専任の栄養士を1名配置し、病棟の看護職員や医師と連携を取りながら上記の取組を行ってまいります。

リハビリ、栄養、口腔の取組は一体となって運用されることで、入院患者さんに対するより効果的な自立支援・重度化予防が期待されます。今後も地域の皆さまが健康な生活を維持できるよう、当院に出来ることを通じて貢献してまいりたいと存じます。

Topic

東京ディズニーリゾート・アンバサダーの方々と ミッキー・ミニーマウスが来院されました！

令和7年2月12日（水） 東京ディズニーリゾート・アンバサダーの方々が社会貢献活動の一環として来院されました。障害福祉サービスの利用児（20歳以下）を対象に、ダンスやグリーティングを通して、ディズニーの夢の世界を届けてくださいました。アンバサダーはウォルト・ディズニーにかわってディズニーランドを紹介したり案内したりする特別なキャストです。当院に入所されている利用児（者）は医療的ケアが多く外出が難しかったり、遠出をするのもハードルが高い方が多いです。その中でもこうして訪問していただき、皆で特別な時間を過ごすことが出来ました。

新採用職員の紹介

令和7年4月1日、看護部は新人看護師13名、療養介助専門員2名、看護助手1名、国立病院機構から転入した看護師長1名および看護師5名を迎え入れました。

4月1日から3日までの3日間、新採用者向け職員研修のプログラムに基づき、さまざまな研修が行われました。国立病院機構や当院の概要、医療倫理、個人情報取り扱いに関する講義があり、医療従事者として必要な知識を習得しました。また、ANAの外部講師を招いて「社会人としての基本的なマナー」に関する講義および演習も行っていただきました。

電子カルテの操作や個人防護具の正しい着脱 (PPE) など、業務を遂行していく上で覚えることが多くあります。緊張や不安を少しでも和らげ、一日でも早く職場環境に慣れるようにコミュニケーションを十分図っていきたいと思います。そして職員一同、一丸となって支援していきたくと考えています。今後ともよろしくお願いたします。



独立行政法人国立病院機構
南京都病院

〒610-0113 城陽市中芦原 11 番地
TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765
時間外緊急時 TEL.0774-52-0642

<https://minamikyoto.hosp.go.jp/>

当院は在宅療養あんしん病院に登録しています。

詳しくはかかりつけ医にご相談ください。



病院ホームページ

〈地域医療連携室〉

TEL:0774-52-0191(直通) FAX:0774-58-0270

受付時間:月~金(平日) 8:30 ~ 19:00※

※放射線科検査予約のみ土曜9:00-12:00も電話受付を実施しております(上記直通番号へご連絡ください。土曜のみ放射線科に対応いたします。)

- 受付後15分以内(原則)に「診療・検査予約票」送付させていただきます。(平日のみ)。
- お時間を要する場合は折り返しお返事させていただきますので、ご了承ください。

診療科のご案内

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| ● 内科 | ● 脳神経内科 | ● 呼吸器内科 |
| ● 消化器内科 | ● 循環器内科 | ● 小児科 |
| ● 外科 | ● 整形外科 | ● 呼吸器外科 |
| ● 皮膚科(入院のみ) | ● リハビリテーション科 | ● 放射線科 |
| ● 心療内科(入院のみ) | ● 歯科(入院のみ) | |



- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
 - JR 学研都市線 京田辺から
 - JR 奈良線 山城青谷から 徒歩 20分
- * 各駅より送迎車あり



南京都病院だよりアンケート
docs.google.com

今後の紙面の参考にアンケートにご協力ください。左のQRコードからアクセスし南京都病院だよりを読んだご意見ご感想をお寄せください。